

ICCAIA 春期ボード（2023年3月開催）

参加報告

ICCAIAの2023年の春期ボードが3月21日にカナダのモントリオールで開催され、SJACからは専務理事の代理として小職が参加したので、その内容につき以下報告する。

参加者は、議決権を有する、AIA（米国-議長）、ASD（欧州）、AIAC（カナダ）、AIAB（ブラジル）、SJACと、準メンバー（議決権無し）としてFEMIA（メキシコ）、そし

てCSAA（中国）が初参加した。その他にICCAIAのICAO駐在員も参加している。AAIS（シンガポール）とMAIA（マレーシア）は不参加であった。



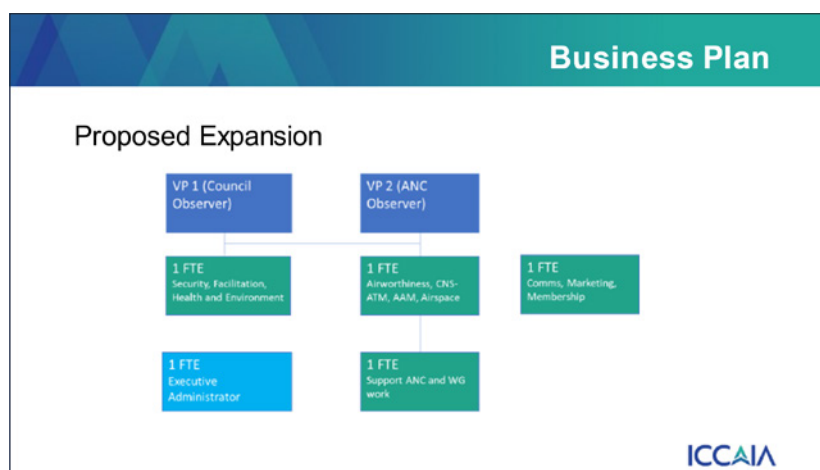
ボード会議参加者による集合写真

今回のボードでは、アジェンダの6項が対象となるICCAIAのICAO駐在の機能強化についてのビジネスプランが主要な議題であった。ICAO駐在よりビジネスプランが説明され、現状は2.5人規模であるが5人の増員を行い7人程度の体制としていくことが示されている。5人の増員により国際機関関連事務所としてカナダケベック州政府よりTAX等にお

いてベネフィット（還付）も受けられるようになるとの説明があった。ICCAIAのメンバーでの費用負担も増えることであり、SJACからは負担費用の増額について会員企業からのコンセンサスを得るには時間がかかるとコメントした。AIA（米国）やASD（欧州）も各々のボードで議論していく予定であるとのコメントがあり、慎重な議論が行われた。

具体的な7人規模の組織図も示され、ICAOの活動をほぼカバーしたうえで、必要に応じ

てICAO以外で行われる国際会議などへのロビー活動も想定しているとのことである。



ビジネスプランに基づくICCAIAのICAO駐在の組織図

その他に会計関係の報告や承認が行われたので、アジェンダ毎の討議概略を以下に記す。

アジェンダ項目	概要
09:00 (1) Welcome & Introductions Eric Fanning, Chairperson, ICCAIA Board of Directors	ERIC氏が議長就任についての簡単な抱負を述べたあと、CSAA (中国)が初参加のため、参加者全員の自己紹介をおこなった。
09:10 (2) Approval of the Agenda Eric Fanning (AIA専務理事)	アジェンダの承認。
09:15 (3) Approval of the minutes (Board Meeting – 26 September 2022) Eric Fanning	9月のボードの議事録承認。そこでは、CSAAの加盟のほか、今回も触れられている会費やビジネスプラン関連の議決がある。
09:20 (4) Financial Update 2022/2023 Mike Mueller (AIAC専務理事)	予算執行状況の報告。
09:40 (5) Indexing of Membership Fees Mike Mueller	収支状況を踏まえて、会費へのエスカレーション条項の導入。カナダの消費者物価指数に4%上昇をキャップとする提案の承認。
09:40 (6) Business Plan Dan Carnelly, Nina Brooks (ICCAIA ICAO駐在)	国際機関関連事務所としてTAX等のベネフィットの享受及び拡大する業務に対応するために7名規模へ拡大していくもの。会費が現状の1.5倍以上にもなる見通しが示された。継続審議となる。
11:00 (7) Adjustment to Financial Year to Align with Calendar Year Dan Carnelly, Nina Brooks	9月1日から8月31日の会計年度を1月1日から12月31日への変更。会計年度の短い調整年度を1年設けることを加えて提案の承認
11:15 (8) Status at ATAG Dan Carnelly	ATAGでのBoardポジション獲得の働きかけについては、IATAがATAGを抜けたこともあり、状況を注視することとした。
11:30 (9) Next Generation Aviation Workforce Initiative Nina Brooks	ICAOでGender Summitが計画されており、それへの関わり方が話される予定との情報提供あり。
11:45 (10) Any Other Business Eric Fanning	ICAO駐在より、技術委員会幹部への更なる参加が呼びかけられた。
12:00 Lunch Break— END	

その他の特記事項として、3月20日の午後に国際民間航空機関（ICAO）日本政府代表部を訪問し、網谷直樹 一等書記官と情報交換を行った。面談では、ICCAIAのICAOでの活動、ICCAIAのメンバーシップの動向（中国の準メンバーとしての加盟など）に加えて、ICCAIAのICAO駐在を今年の天皇誕生日祝賀レセプションにお招きいただいたことへのお礼を行った。また、網谷氏のご配慮により、赤松 武 特命全権大使にご挨拶をおこなう機会を得た。

所感

ボード会議の前夜（3/20）に今回参加者によるデイナーがあり、そこで各国からの参加者と懇親を深める機会を得た。米国、欧州ともにコロナ禍から回復しており、民間航空機分野における生産回復のみならず、脱炭素、AAM（Advanced Air Mobility）、防衛、宇宙と様々な分野における取組が盛んになっていることを伺った。私としては、引続き様々な情報を収集し、各位との情報共有を通じて産業界の継続的な発展の一助になればと考えます。引続き、ご教示やご支援のほど、よろしくお願いいたします。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 国際部部長 羽中田 実〕